



2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月12日

上場会社名 神田通信機株式会社
 コード番号 1992 URL <http://www.kandt.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神部 雅人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 高橋 昌弘

TEL 03-3252-7731

四半期報告書提出予定日 2018年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	2,907	22.8	38		3		10	
2018年3月期第2四半期	2,368	1.7	65		29		36	

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 33百万円 (%) 2018年3月期第2四半期 3百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	13.52	
2018年3月期第2四半期	45.55	

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	6,417	3,696	57.6	4,613.03
2018年3月期	7,142	3,703	51.9	4,621.23

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 3,696百万円 2018年3月期 3,703百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		50.00	50.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				50.00	50.00

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	11.1	120	24.9	170	25.4	100	33.8	124.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	874,409 株	2018年3月期	874,409 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	73,041 株	2018年3月期	72,971 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	801,368 株	2018年3月期2Q	801,724 株

(注)当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。詳細は[添付資料]3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が進み、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、日本国内で相次ぐ自然災害等の影響や米中貿易摩擦による景気の減速懸念もあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、永年にわたり培った情報・通信・映像事業の技術力に加え、照明制御業界内においてDALI制御のSier(注)として最も実績を有する先駆的企業として社会に適合したソリューションビジネスを展開してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は29億7百万円(前年同四半期比22.8%増)となり、営業損失は38百万円(前年同四半期は営業損失65百万円)、経常利益は3百万円(前年同四半期は経常損失29百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は10百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失36百万円)となりました。

(注)Sierはシステムインテグレーションを行う事業者の総称であり、情報システムの企画、設計、開発、構築、導入等を請負うサービスを提供しております。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」の「2. 報告セグメントの変更に関する事項」をご参照ください。

① 情報通信事業

ネットワークインフラの設計・提案・構築、自社ブランドパッケージソフトの開発と販売、一般企業・社会福祉法人向け等のシステム開発及びハード、ソフトのサポートサービスを積極的に展開いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は27億54百万円(前年同四半期比23.4%増)、営業損失は48百万円(前年同四半期は営業損失69百万円)となりました。

② 照明制御事業

国際標準規格DALI制御の「Sier」としてのポジションを活かし、社会に適合したソリューションビジネスを積極的に展開いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1億19百万円(前年同四半期比16.4%増)となり、営業損失は11百万円(前年同四半期は営業損失16百万円)となりました。

③ 不動産賃貸事業

不動産の賃貸を事業としており、売上高は34百万円(前年同四半期比2.9%増)、営業利益は21百万円(前年同四半期比1.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は64億17百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億25百万円減少しました。これは主に、現金預金が2億14百万円増加し、受取手形・完成工事未収入金等が7億76百万円減少したこと等によります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は27億20百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億18百万円減少しました。これは主に、支払手形・工事未払金等が7億47百万円減少したこと等によります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は36億96百万円となり、前連結会計年度末と比較して6百万円減少しました。これは主に、利益剰余金が50百万円減少し、その他有価証券評価差額金が43百万円増加したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は前連結会計年度末と比較して2億14百万円増加し17億95百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は2億97百万円（前年同四半期は1億73百万円の収入）となりました。これは主に売上債権の減少7億63百万円、たな卸資産の減少2億63百万円等の増加要因があった一方、仕入債務の減少7億59百万円等の減少要因があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は19百万円（前年同四半期は1億19百万円の収入）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出40百万円等の減少要因があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は64百万円（前年同四半期は67百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払額39百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月14日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,643,018	1,857,103
受取手形・完成工事未収入金等	1,871,745	1,095,074
未成工事支出金	208,134	229,919
仕掛品	312,372	22,650
その他のたな卸資産	3,502	8,378
その他	121,181	117,121
貸倒引当金	△18,203	△17,128
流動資産合計	4,141,751	3,313,118
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	331,562	334,193
土地	1,520,934	1,554,049
その他（純額）	9,830	18,443
有形固定資産合計	1,862,327	1,906,686
無形固定資産		
	8,340	8,340
投資その他の資産		
投資有価証券	981,689	1,041,926
その他	164,513	159,534
貸倒引当金	△16,070	△12,159
投資その他の資産合計	1,130,132	1,189,302
固定資産合計	3,000,800	3,104,329
資産合計	7,142,552	6,417,448

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,565,028	817,218
短期借入金	220,000	220,000
未払法人税等	78,814	27,591
賞与引当金	153,130	149,000
役員賞与引当金	14,660	2,000
受注工事損失引当金	—	3,716
その他	329,652	390,896
流動負債合計	2,361,286	1,610,421
固定負債		
リース債務	65,487	55,885
繰延税金負債	106,665	124,584
退職給付に係る負債	859,890	881,183
役員退職慰労引当金	23,558	26,599
その他	22,035	22,035
固定負債合計	1,077,636	1,110,288
負債合計	3,438,922	2,720,710
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,310,825	1,310,825
資本剰余金	1,087,084	1,087,084
利益剰余金	1,108,377	1,057,466
自己株式	△131,178	△131,358
株主資本合計	3,375,108	3,324,017
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	330,763	373,841
退職給付に係る調整累計額	△2,242	△1,121
その他の包括利益累計額合計	328,520	372,720
純資産合計	3,703,629	3,696,737
負債純資産合計	7,142,552	6,417,448

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	2,368,583	2,907,875
売上原価	1,738,191	2,278,829
売上総利益	630,391	629,045
販売費及び一般管理費	695,398	667,602
営業損失(△)	△65,007	△38,556
営業外収益		
受取配当金	9,407	12,151
受取手数料	18,186	19,432
貸倒引当金戻入額	2,475	4,986
その他	7,833	7,504
営業外収益合計	37,902	44,074
営業外費用		
支払利息	1,514	1,534
その他	417	169
営業外費用合計	1,931	1,703
経常利益又は経常損失(△)	△29,036	3,815
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△29,036	3,815
法人税、住民税及び事業税	7,478	14,653
法人税等合計	7,478	14,653
四半期純損失(△)	△36,514	△10,838
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△36,514	△10,838

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純損失(△)	△36,514	△10,838
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,546	43,078
退職給付に係る調整額	2,890	1,121
その他の包括利益合計	33,436	44,199
四半期包括利益	△3,078	33,360
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,078	33,360

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△29,036	3,815
減価償却費	13,952	12,876
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,475	△4,986
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,640	△4,130
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,060	△12,660
受注工事損失引当金の増減額(△は減少)	△5,624	3,716
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△386	22,414
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△57,316	3,041
受取利息及び受取配当金	△11,624	△13,611
支払利息	1,514	1,534
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,144
売上債権の増減額(△は増加)	667,228	763,161
たな卸資産の増減額(△は増加)	△146,611	263,061
仕入債務の増減額(△は減少)	△203,272	△759,934
未払消費税等の増減額(△は減少)	△36,552	19,802
その他の資産の増減額(△は増加)	△8,341	△3,146
その他の負債の増減額(△は減少)	26,282	57,471
小計	189,035	351,280
利息及び配当金の受取額	11,806	13,793
利息の支払額	△1,543	△1,412
法人税等の支払額	△25,343	△65,885
営業活動によるキャッシュ・フロー	173,955	297,776
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△34,686	△34,687
定期預金の払戻による収入	34,686	34,686
有形固定資産の取得による支出	△5,921	△40,843
投資有価証券の取得による支出	△1,413	△2,286
投資有価証券の売却による収入	—	4,004
投資有価証券の償還による収入	100,000	—
リース投資資産の回収による収入	27,169	24,658
差入保証金の差入による支出	△366	△3,095
差入保証金の回収による収入	407	4,053
貸付けによる支出	—	△5,000
貸付金の回収による収入	2,088	2,088
その他の支出	△2,687	△2,687
投資活動によるキャッシュ・フロー	119,275	△19,109
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△27,169	△24,760
配当金の支払額	△39,554	△39,592
自己株式の取得による支出	△427	△180
財務活動によるキャッシュ・フロー	△67,151	△64,533
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	226,080	214,133
現金及び現金同等物の期首残高	1,427,009	1,581,236
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,653,089	1,795,370

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計(千円)
	情報通信事業 (千円)	照明制御事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	2,232,828	102,600	33,154	2,368,583
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,232,828	102,600	33,154	2,368,583
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△69,775	△16,513	21,280	△65,007

(注) セグメント利益又はセグメント損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計(千円)
	情報通信事業 (千円)	照明制御事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	2,754,307	119,446	34,120	2,907,875
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,754,307	119,446	34,120	2,907,875
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△48,601	△11,517	21,562	△38,556

(注) セグメント利益又はセグメント損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、既存事業の収益率の向上を目的とした組織変更に伴い「建設事業」と「情報システム事業」を統合し「情報通信事業」としております。また同時に、照明制御事業の拡大を目的とした組織変更に伴い、従来、「建設事業」に含まれていた「照明制御事業」を区分し、報告セグメントは「情報通信事業」「照明制御事業」「不動産賃貸事業」に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分方法に基づいております。